

JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者資格試験

再認証試験受験申請に関する注意事項（よくある不備について）

再認証試験受験申請に関するよくある不備についてまとめました。2024年秋期再認証試験（資格証明書の有効期限が2025年3月31日までの方が対象）の受験申請をされる方は、申請書を提出する前に本書を確認してください。

申請書類に不備があった場合、再提出が要求されますので、記入もれがないように注意してください。

よくある不備一覧

1	<全レベル共通> ④～⑦【再認証試験受験意思の確認】、【受験地区】の記入もれ又は記入ミス
2	<レベル1又はレベル2のUT（又はTT）の方> 【⑧UT（又はTT）の実技選択】の記入もれ
3	<レベル3の方> 【⑨実技能力の確認書類<表紙>】の添付もれ

※詳細は次頁以降参照

①④～⑦【再認証試験受験意思の確認】、【受験地区】の記入もれ又は記入ミス<全レベル共通>

④に“1”又は“2”、“3”の番号のいずれか一つを記入し、⑤～⑦の全ての欄に該当する2桁の番号を記入してください。

HP掲載【(SA2-2) 再認証試験日程表 2024年秋期】

【④再認証試験受験意思の確認】																										
“1”	“2”	“3” (レベル3の場合のみ)																								
再認証試験から受験	再認証試験は欠席し、再試験1回目からの受験	クレジット申請																								
記入例【⑤～⑦受験地区】																										
※再認証試験から受験する場合、⑤～⑦に受験地区コードを記入。 <table border="1"> <tr> <td>④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>受験地区</td> <td>⑤再認証試験 13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥再試験1回目 27</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦再試験2回目 27</td> </tr> </table>	④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入	1	受験地区	⑤再認証試験 13		⑥再試験1回目 27		⑦再試験2回目 27	※再試験1回目から受験する場合、⑤は99(受験なし)、⑥・⑦は受験地区コードを記入。 <table border="1"> <tr> <td>④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>受験地区</td> <td>⑤再認証試験 99</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥再試験1回目 13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦再試験2回目 13</td> </tr> </table>	④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入	2	受験地区	⑤再認証試験 99		⑥再試験1回目 13		⑦再試験2回目 13	※クレジット申請の場合、⑤は99(受験なし)、⑥・⑦は受験地区コードを記入。 <table border="1"> <tr> <td>④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受験地区</td> <td>⑤再認証試験 99</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥再試験1回目 13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦再試験2回目 13</td> </tr> </table>	④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入	3	受験地区	⑤再認証試験 99		⑥再試験1回目 13		⑦再試験2回目 13
④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入	1																									
受験地区	⑤再認証試験 13																									
	⑥再試験1回目 27																									
	⑦再試験2回目 27																									
④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入	2																									
受験地区	⑤再認証試験 99																									
	⑥再試験1回目 13																									
	⑦再試験2回目 13																									
④再認証試験 受験意思の確認 ※右欄の1.～3.のうち一つ選んで番号を記入	3																									
受験地区	⑤再認証試験 99																									
	⑥再試験1回目 13																									
	⑦再試験2回目 13																									
受験地区コード(2桁の番号)及び日程については、 HP掲載 (SA2-2)の10頁～12頁参照。																										
受験料について																										
再認証試験から受験料が発生します。	再認証試験再試験1回目から受験料が発生します。	再認証試験(クレジット申請)から受験料が発生します。																								

②【⑧UT(又はTT)の実技選択】の記入もれ <レベル1又はレベル2のUT(又はTT)の方>

“1”～“3”のいずれか一つ(TTの場合は“4”又は“5”)を記入してください。

※“1”については、2021年春期再認証より追加

HP掲載【(SA2-2)再認証試験日程表 2024年秋期 JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 13頁】

「9-1. 超音波探傷試験(UT)実技試験で使用するデジタル超音波探傷器について」

「9-2. 赤外線サーモグラフィ試験(TT)で使用する赤外線サーモグラフィ装置について」

NDT方法	受験申請書記入用番号	デジタル超音波探傷器のタイプ	メーカー
UT	1	探傷器を持ち込み	※詳細は、(EA7-1)「UT(超音波探傷)実技試験における超音波探傷器について」を参照。
	2	Gタイプ	GE センシング&インスペクション・テクノロジーズ株式会社
	3	Rタイプ	菱電湘南エレクトロニクス株式会社
TT	4	NEC/Avio 製 H2630	日本アビオニクス株式会社 (2012年以前はNEC Avio 赤外線テクノロジー株式会社)
	5	FLIR 製 SC620	フリーアシステムズジャパン株式会社

③【◎実技能力の確認書類<表紙>】の添付もれ <レベル3の方>

レベル3を申請する場合は、「実技能力の確認書類<表紙>」及び「実技能力の確認書類（選択した（1）～（4）のいずれかの添付書類）」の提出が必要です。特に、「実技能力の確認書類<表紙>」の提出もれが多く見受けられますので、ご注意ください。

HP掲載【(EB3) レベル3 実技能力の確認書類について】の3頁「実技能力の確認書類<表紙>」

レベル3実技能力確認書類申請書は、下記の必要事項を記載のうえ、実技能力の確認書類に必要な添付書類一式と
なして申請する必要がある（※申請書1枚につき、実技能力申請書類と一緒提出してください）。

※実技能力申請書類は添付枚数を厳格に守らなければならない。

JIS Z 2305:2013「非破壊試験技術者の資格及び認証」（レベル3用）
実技能力の確認書類<表紙>

1. 雇用責任者記入欄：私（雇用責任者）は、以下の申請者の実技能力の確認書類について必要事項を満足していることを証明します。

雇用責任者	氏名・押印	印	証明日（西暦） 年 月 日
	勤務先名・役職		

申請者

申請 NO.1	個人コード	P					
	氏名						

2. 確認書類

申請するNDT方法の実技能力の確認書類として提出するものは、「1」から「4」のうち、**いずれか1つを選択し**、**3枚以上**を提出すること。

<input type="checkbox"/> (1) 実務経歴書	添付書類枚数 3枚 （2）項の証明者の資格証明書コピーの枚数を含む） ※本欄には「申請書」と「実務経歴書」を提出する。
<input type="checkbox"/> (2) 実技能力を証明するレポート	添付書類枚数 3枚 （3）項の証明者の資格証明書コピーの枚数を含む） ※本欄には「申請書」と「実務経歴書」を提出する。
<input type="checkbox"/> (3) レベル2資格証明書保持	添付書類枚数 1枚 ※申請するNDT方法のレベル2（当該申請申請時に有効な、資格保持者の方は、資格証明書の認定番号が記載されていること）。
<input type="checkbox"/> (4) レベル2資格試験合格	添付書類枚数 1枚 ※申請するNDT方法のレベル2（当該申請申請時に有効な、試験合格者であることを証明する、当該申請書類に有効な試験合格番号を記載すること）。

3. 証明者記入欄

上記の(1)～(4)のうち、(2)～(4)を選択した場合は、確認書類に対してどのレベルに該当する第三者（資格保持者）の証明が必要となります。実務経歴書に記入することはありません。
※レベル2資格保持者（申請書NDT方法以外でも可）
※申請するNDT方法のレベル2資格保持者

証明者記入欄：私は、本欄に添付された書類にて、申請者がレベル2以上の実技能力を有していることを証明できることを証明します。
※申請書の添付欄にも本欄の証明資料（この欄の項目）に併せてください。
※この欄には1名以上の証明者を記入してください。

証明者	氏名・押印	印	証明日（西暦） 年 月 日
	資格保持者のこと		
	NDT方法とレベル	認定番号	N
	勤務先名		
	連絡先電話番号		

<選択肢別の提出書類一覧>

確認書類の選択肢	提出書類	提出枚数
(1) 実務経歴書	「実技能力の確認書類<表紙>」 + 実務経歴書 + 証明者（第三者）の資格証明書のコピー	3枚以上
(2) 実技能力を証明するレポート	「実技能力の確認書類<表紙>」 + 実技能力を証明するレポート + 証明者（第三者）の資格証明書のコピー	3枚以上
(3) レベル2資格証明書保持	「実技能力の確認書類<表紙>」 + 申請する NDT 方法のレベル2の資格証明書のコピー	2枚
(4) レベル2資格試験合格	「実技能力の確認書類<表紙>」 + 申請する NDT 方法のレベル2の新規認証申請書のコピー	2枚

※上記の提出枚数には、受験申請書と資格継続調査票の2枚を含んでおりません。

以上